

The Tomakomai Mimpo

2022年(令和4年)

苫小牧民報

9月30日

金曜日

発行所 苫小牧民報社 〒053-8611 苫小牧市若草町3丁目1番8号 代表電話 0144(32)5311

リハビリ・ケア研究大会開幕

市内3会場で講演や展示

苫小牧



全国規模の研究大会が開幕＝30日午前9時すぎ、苫小牧市民会館

を併催するハイブリッド方式とした。グランドホテルニュー王子、市民会館、市文化会館で講演やシンポジウムなど約80の発表、関連企業の展示を展開する。

開会式を市民会館大ホールで行い、斉藤会長が「地域のために何ができるか、病院の中だけではなく、地域の中の役割を模索し、実行することが大事」と意欲。岩倉博文市長が歓迎のあいさつをし、道医師会の松家治道会長が「高齢化の進展で、多職種連携が不可欠」と力を込めた。

引き続き橋本院長が講演し、苫小牧東病院のロボットリハビリや北海道千歳リハビリテーション大との連携などを紹介。大会テーマの「賢古考新」に沿って、「昔のことや人の教えを参考に、リハビリテーション医療を進化、発展させ、次代に届けたい」と述べた。

10月1日午前11時から市文化会館で、参加無料の市民公開講座「シルバールハビリ体操」も開催する。

リハビリテーション分野で国内最大規模の学術集会「リハビリテーション・ケア合同研究大会」が30日、苫小牧市民会館で開幕した。道内では2012年の札幌に次いで2回目で、10月1日まで市内3会場で開催。大会長の橋本洋一苫小牧東病院理事長・院長が「苫小牧で心に残る大会に

し、地域リハビリテーションの進化につなげる」と強調した。日本リハビリテーション病院・施設協会(斉藤正身会長)など6団体が主催。1997年の初開催から四半世紀の歴史がある。例年であれば全国から約2000人が集まるが、コロナ禍を踏まえてオンライン配信